

# HAGIWARA PROJECTS

今井 俊介 Shunsuke IMAI

## surface / volume

2013年3月9日(土)~5月2日(木)

アーティストレセプション：  
2013年3月9日(土) 18:00 - 20:00

HAGIWARA PROJECTS

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-18-2-101  
Tel & Fax 03-6300-5881 info@hagiwaraprojects.com  
木曜日~土曜日 12:00-19:00  
火曜日、水曜日 予約のみ(日・月・祝日休廊)



Shunsuke Imai, "untitled" 2012, 92 x 115 cm, acrylic on canvas

この度ハギワラプロジェクトでは、今井俊介の個展“surface / volume”を開催する運びとなりましたのでお知らせいたします。

今井は、絵画の基本的要素である形、色、空間を探究した作品を展開しています。以前はインターネットからダウンロードしたボルノ画像や花の図柄を、鮮やかな色に置き換えて配置するという作品を制作していました。近年では、更に図象を取り除いた画面構成で、一層表層性を問う作品に取り組んでいます。アクリル絵具によって塗られた色のレイヤーが定着した画面は、波やたなびく旗のようにも見えますが、そこには奥行きも空間も無いただの平坦な画面が広がっています。作品は、観る者の視線を漂わせ、想像力を掻立てますが、同時に、意味を問われることを軽やかにかわして、そこに置いていかれるような空虚感を生み出します。

色を載せただけの画面で何がそこに起こりうるのか。今井は、「観る」ことの根本的な意味と平面の可能性を真摯に探究すると同時に、現在私たちが日々直面する情報の空虚さや意味を問いかけているようでもあります。

artist statement :

「絵画である以上はその裏側には何もないし、そこに入っていくことはできない。

まるで風になびく旗を見ているような感覚を覚える。

旗ははためいていると量感を持った存在だが、それはただ1枚の布であってその裏側にはなにもない。

東京の猥雑な夜の街を歩くとまばゆいネオンが煌々と光り、ファストファッションのお店にいけばケミカルな色の洪水に溺れる。その色の集積に意味はなくそこには巨大な空洞だけがある気がする。

わたしの絵画はそういうものだ。 今井俊介」

作家略歴：1978年福井県生まれ、東京在住。2004年武蔵野美術大学 大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。主な展覧会に、「surface / volume」LOOP HOLE (東京、2012)、「new piece」リマスタ (東京、2011)、「SSS - expanded painting」MISAKO & ROSEN (東京、2010)、「emptiness」遊戯室 (中崎透 + 遠藤水城)、(水戸、2008)、「Red」ZAIM (横浜、2008)、「CET04」INO ビル (東京、2004)、「empty eyes」ZENSHI (東京、2007) など